



2021年12月末の信用金庫の預金・貸出金動向（速報）

－ 預金の堅調な伸びなどから余資運用資産は100兆円台に －

井上 有弘

ポイント

- 2021年12月末の全国254信用金庫の預金残高の合計は、161.0兆円、前年同月比1.9%増となった。貸出金残高の合計は、78.8兆円、同0.8%増となった。いずれも過去最高額を更新した。
- 預金者別データが把握できる21年11月末までの動向をみると、法人預金については、コロナ禍の資金繰り支援に伴う増減率の上昇は一巡している。一方、個人預金については、給付金の影響が一巡した後も、消費抑制などからコロナ禍前を上回る比較的高い伸びを続けている。
- 預金増加が堅調なこと、日本銀行の新型コロナ特別オペを利用する信用金庫の借入金が増加したこと、信用金庫の余資運用資産の合計残高は、21年12月末に初めて100兆円台となった。

1. 12月末の信用金庫の預金・貸出金

国内で新型コロナウイルスの感染者が初めて確認された2020年1月から2年が経過した。この間、信用金庫の預金、貸出金は、中小企業向け資金繰り支援等によって、長期的にみても大きく増加していたが、前年同月比増減率でみた動きは現時点では一巡している(図表1)。

21年12月末の全国254信用金庫の預金残高の合計は、161.0兆円、前年同月比1.9%増となった。貸出金残高の合計は、78.8兆円、同0.8%増となった。前月11月末の増減率は預金と同2.4%増、貸出金と同1.0%増なので、預金、貸出金とも鈍化が続いている。

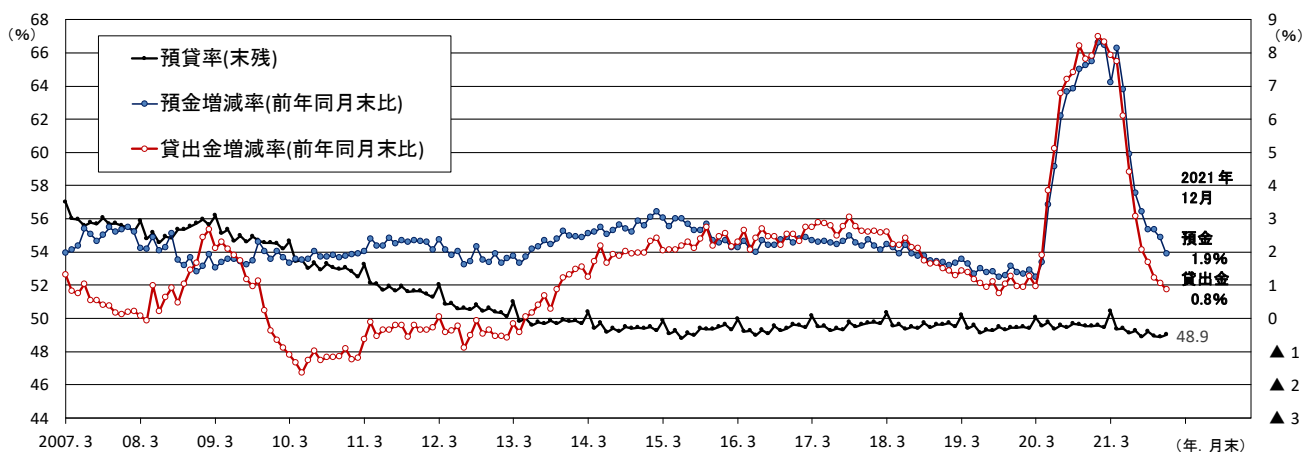
例年12月は、偶数月の年金受給、冬のボーナス、年末の資金繰り資金などの要因から、預

金、貸出金とも残高が増加する傾向にある。21年12月末の預金は、月末ベースで過去最高額だった21年10月末(160.4兆円)を上回った。貸出金残高も過去最高額だった9月末(78.6兆円)を上回り、預金・貸出金とも月末ベースの過去最高額を更新した。

2. 預金者別預金・貸出先別貸出金

預金者別データが把握できる21年11月末までの動向をみると、預金全体の約2割を占める法人預金については、コロナ禍の資金繰り支援に伴う増減率の上昇は一巡している(図表2)。21年11月末には前年同月比で2.8%増に低下し、20年3月末の同1.9%増以来の低い伸びとなった。

(図表1) 信用金庫の預金・貸出金の推移



約4分の3を占める個人預金の増減率も、11月末には同2.2%増に低下した。1人一律10万円の特別定額給付金の影響が大きかった20年7月から21年5月の3%超の伸びは下回ってきているものの、16～19年度にはなかった2%台の比較的高い伸びを維持している。個人預金については、個人や個人事業主向けの給付金の影響が一巡した後も、感染収束が見通せないなかでの消費抑制などからコロナ禍前を上回る比較的高い伸びを続けている。

同様に貸出先別貸出金の動向をみると、資金繰り支援で大きく膨らんでいた企業向け運転資金の増減率は、11月末には同3.1%増にまで低下した(図表3)。これは20年3月末の同1.0%増以来の低い伸びである。他方、企業向け設備資金は20年11月以降、前年同月比で減少が続いている。個人向け貸出は、住宅ローンが増加を続け、消費者ローン等の減少率が縮小したため、21年6月以降は増加に転じている。

3. 余資運用資産は100兆円台に

個人預金の増加を主因に預金増加が堅調なことから、信用金庫の余資運用資産¹の合計残高は、21年12月末に100兆229億円となり、初めて100兆円台となった(図表4)。余資運用資産は、長期的な預貸率の低下を背景に11年4月末に貸出金残高を逆転し、その後も増加が続いていた。信用金庫別にみると、21年12月末時点で全254金庫のうち約8割の202金庫で貸出金残高を上回っている。

最近の余資運用資産増加の要因として、前述のとおり預金の伸びが堅調なことのほか、日本銀行による「新型コロナウイルス感染症対応金融支援特別オペレーション(新型コロナ特別オペ)」²を利用する信用金庫の借入金が増加したことがある。

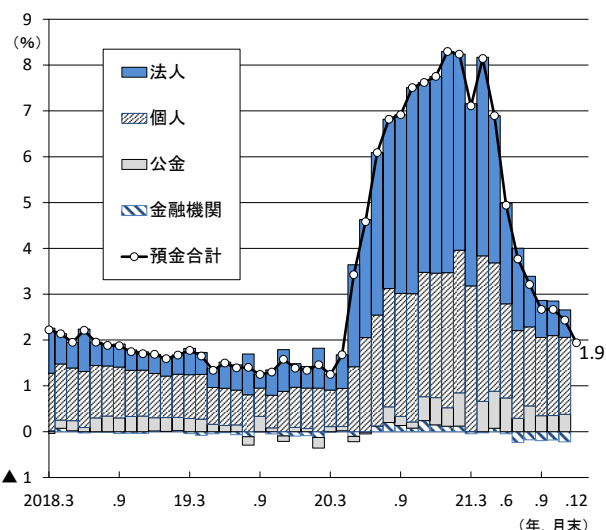
以上

※「信用金庫地区別預金・貸出金(残高)」、「信用金庫預金、現金、貸出金残高(地区・都道府県別)」を信用金庫に還元しています。また、長期時系列統計については、当研究所HP、「全国信用金庫概況・統計」に掲載しています。併せて、ご活用ください。

¹ 余資運用資産は、預け金、有価証券などからなり、貸出金以外の運用資産に相当する。具体的には、現金、預け金、買入手形、コールローン、買現先勘定、債券貸借取引支払保証金、買入金銭債権、金銭の信託、商品有価証券、有価証券の合計

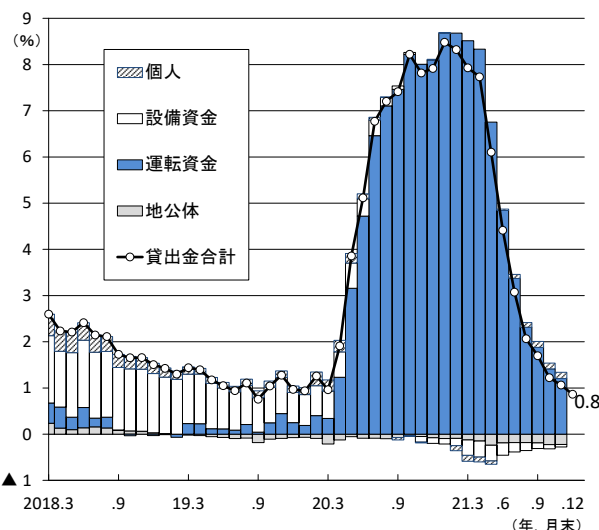
² 民間部門における金融面の円滑確保に万全を期すとともに、金融市場の安定を維持する観点から、共通担保として差入れられている民間債務および新型コロナウイルス感染症対応として行われている中小企業等への融資残高の合計額の範囲内で、資金を貸付ける資金供給オペレーション。

(図表2) 預金者別預金動向(前年同月比増減率)



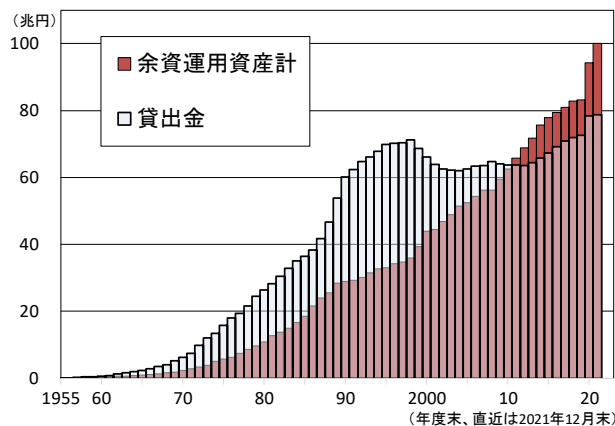
(備考) 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成
2. 棒グラフは、21年11月末までの寄与度分解(図表3も同様)

(図表3) 貸出先別貸出金動向(前年同月比増減率)



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表4) 信用金庫の余資運用資産の長期推移



(備考) 「全国信用金庫概況・統計」等より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。